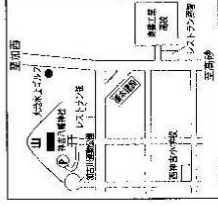


# 鎮守の杜

発行 神吉八幡神社  
 (加古川)  
 ☎ 432-5547 (宮町宅)  
 431-2130 (社務所)  
 FAX (079) 431-2130



**「初詣は、まず氏神さまへ」**  
**あけましておめでとございます**

☆元旦祭：一月一日 午前0時

正月は春(幸)運をもたらす神の祭りをを行う日です。新しい年を迎えて旧年中のご加護に感謝し、これから一年、幸多かれと神社にお参りしましょう。

生まれて、育つて、暮らして密着している地域の神社、それが氏神さまです。氏神さまは私たちが住む地域を守つてくださる神出の神さまです。

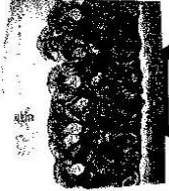
新しい年のはじめに一聚おそろいで神吉八幡神社へご参拝くださいまして、平成二十八年度の願いも新たにひとりひとりの願いごとを心からお祈りしてください。

## 干支総馬奉納

播州奈幸子太鼓、鼓欣衆の皆様より今年の干支総馬を奉納していただきました。

一月一日、二日、三日の境内に飾つていきますので、ご覧下さい。

鼓欣衆の皆様には、厄除祭や秋季例祭で素晴らしい太鼓演奏をしていただいています。



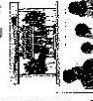
## すっかり定着した名物のあまざけで今年のしあわせを

今年も広庭のテントの中に「あまざけ席」を設け、あたたかいあまざけをサービス致します。(二月一日・二日・三日)ご参拝の方は、ご自由にお召しあがりください。そして体をあたためられて今年のしあわせを祈願ください。



## 家庭のおまつり

感謝の気持ちで手を合わせ、新年を迎え、伊勢神宮のお神礼(神宮土産)や氏神さまのお神札をおまつりし、日本人の心と伝統を伝えてゆきましょう。



## 一年連続の秋季例祭を務めて

神吉町内会長 喜多 大見男

平成二十七年度の秋祭りの当番は二年連続で神吉町内会が務めました。

屋島の朝は少し曇っていましたが、良い天気になり、神幸行列は町内会の各種団体の皆様のお陰で無事終えることができました。

祭りの当番で最初に決めなければならぬのは頭人の人選であります。五月の初めに去年頭人の的場光廣君の弟の大河君(小学三年生)に決まりました。去年、光廣君は祭りが終わったときに「終わっちゃった、もつとやりたかった。すごく楽しかった。」と言ったのを弟が聞いていて、できたら来年僕が頭人になりたいの思いがあったと思います。それをあなためられて今年のしあわせでかなえて下さり、快く引き受けただけです。心より感謝申し上げます。

さて、今年も七月に秋祭りの実行委員会で内容の意思統一をいたしました。八月末に神輿を引き取り、祭りが近づいてきたと肌でひしひしと感じました。注連縄づくりは指導者のもとです。ムラウキによつて厚くできたと思います。少年団には子供の幣手、御徒士の募集をお願いし、春桜花づくりを依頼しました。

祭りの準備を整え、宵宮を迎えました。宵宮は頭人奉告祭、宵宮祭の神事は八十一人が参列し、厳粛に実行されました。昼宮は公会堂において午前七時より舞割で出たちを祝い、神幸行列が始まりました。行列は祭礼総巻物に基づき再現され、お先太鼓を先頭に約二百人で厳かに進行しました。頭人は神馬に乗り上の宮から下の宮へ、そして上の宮で行列を終え、頭人の還幸祭を皆で見守りました。道中頭人は緊張を絶やさず大役を果たしてくれました。神幸行列には沿道



温かいご声援いただきありがとうございます。また今年も神輿の担ぎ手を確保するのにも苦労いたしました。幸い指導者が担ぎ手の中に入つていただき二十名の確保ができました。当日子供の幣手と練習の成果が披露できたのでよかったです。屋台の出行は下の宮で三台の鷹合織りを幣手の囃しで威勢よく盛り上げ豪華絢爛の電飾が星夜にうかびあり華麗な織りで幕を閉じました。女性部には踊りで祭りを盛り上げていただき、食事の面でも文

献花行列の伝統文化を守つてい



くにはたくさんの方々の協力があったので初めて維持できるものだと思います。また祭りは世代間の大いべんとであり、町内会の連携で絆ができる効果があります。

結びになりましたが町内の皆様には深く感謝し、厚く御礼申し上げます。



## 頭人を務めて

神吉 的場伸治 美智子

祭りを終えた後、昨年、日光鷹の時と同様、頭人が終わつちやうと、弟、大河も立き始めました。私たちが両親はその大河の立き顔を見てこの一年間の思いがほぐれ、ほっと胸をなでおろしました。

一年前、町内会長様から頭人選出のお声がけを頂いた時、双子の兄弟のどちらが頭人を務めさせていたのか大変悩みましたが、一人の希望に添い、光廣が頭人になりました。

しかし、「化粧をしてみんなの前に出るのは恥ずかしい。」と言つていた大河が、兄の姿を見て

「僕も頭人さんやりたかったな」と。

この言葉は私たちが両親の心の中にずっと残っていました。

そして今年、大河は頭人。慣れない着物が苦しかつたのか、緊張からか、始まる前はため息ばかりついていたのですが、いざ本番となると覚悟を決め威厳を正し、楽しそうに大役を務めてくれました。

幼い頃から「トイヤサ、トイヤサ」と言いつながら遊んでいた二人。唄って二人共、頭人となりましたが、そこには昨年も今年も地域の皆様の情しめないご尽力と温かいお心遣いがあったからこそと心より感謝申し上げます。

十年先、二十年先、たとえ故郷を離れていたとしても、この貴重な経験と感動的な思い出を胸に抱いた二人が秋奉例祭の時節には懐かし、屋台を担ぐ姿を見ても結びとさせていただきます。

皆様、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



平成二十八年秋季例祭 予定  
 十五日(土) 宵宮祭・奉告祭  
 十六日(日) 昼宮祭  
 神吉町内会 中西・西村町内会

毎月一日・十五日は氏神さまへお参りしましょう